

# 東京湾海況情報 24-2

## 東京湾水質調査結果（平成24年5月）

（平成24年5月25日発行）

千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 〒 293-0042 富津市小久保3091  
 TEL 0439-65-3071  
 E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp  
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 5/7：内湾(わかふさ)、内房海域(ふさみ丸)  
 関東・東海海況速報(5/7)、東京湾口海況図(5/7)、神奈川県水産技術センター(5/7)  
 モニタリングポスト(5/7：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)  
 東京都環境局(5/8)

### 【 水温・塩分の状況 】

湾内の表層水温、塩分は(図1)はほぼ18~19℃台、20~33台になっています。これまで低めであった水温は高めになり、約1~2℃高くなっています。塩分は2~4日にかけての大雨（東京：163.5mm、横浜：155mm）によって内湾北部から西側海域でかなり低塩分化していました。

縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)をみると、内湾中央部の底層に水温14℃台の水塊がみられています。

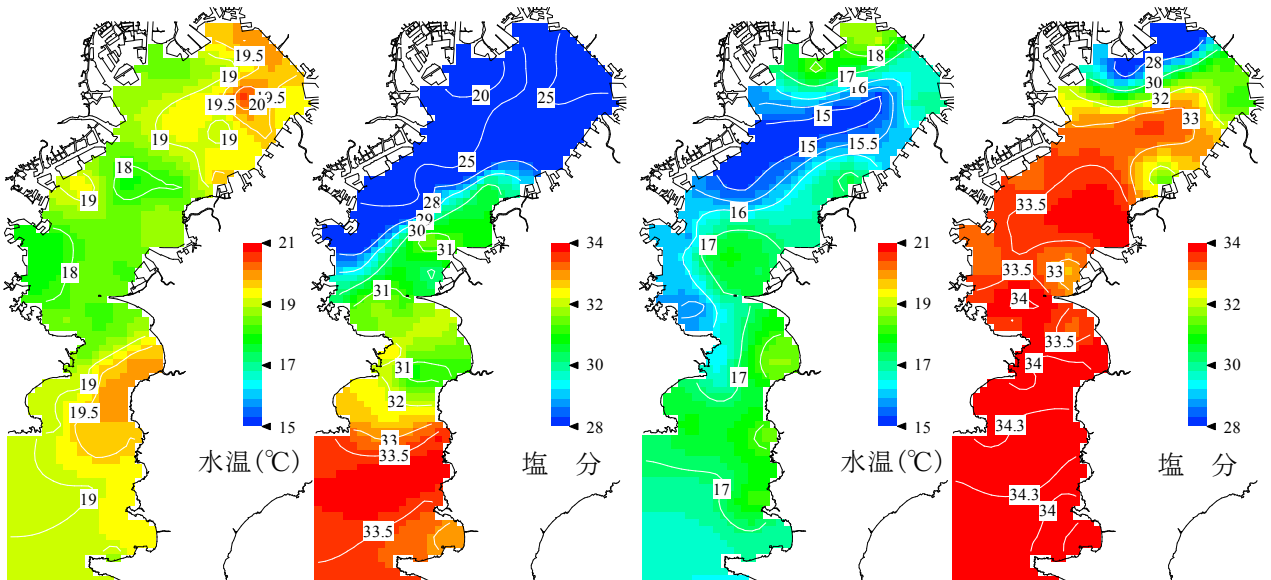


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

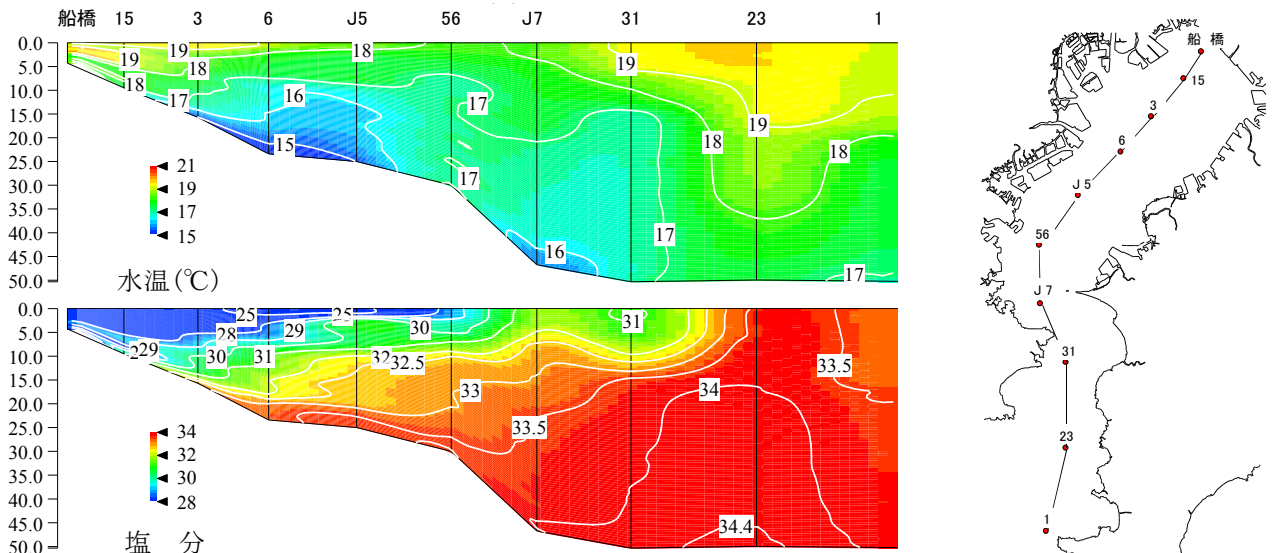


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

### 【 赤潮の状況 】

透明度は内湾北西部で調査前の降雨によって低下していましたが、赤潮は発生していませんでした。

プランクトンは全体的に少ないが、内湾北部～中央部海域で渦鞭毛藻のプロロセントルム (*Prorocentrum minimum*) とケラチウム (*Ceratium* sp.) がやや多くみられていました。

一方、保田から富浦にかけての周辺海域では、ほとんどがケイ藻類でしたが、ノクチルカ (*Noctiluca miliaris*) もみられていました。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 $\mu$ g/L以上

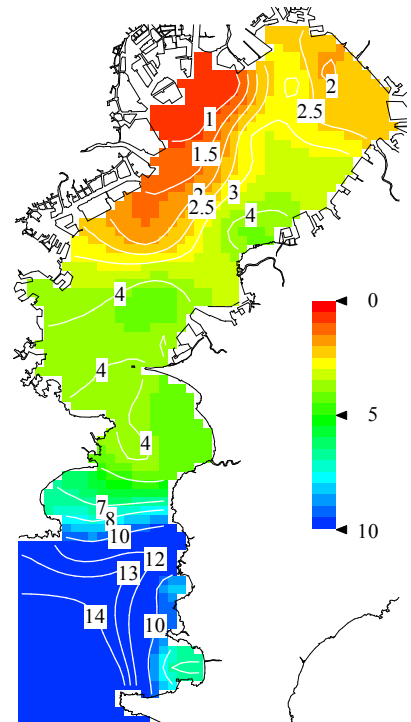


図4 透明度の分布 (m)

### 【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は内北部海域で低下し、弱い貧酸素水塊がみられていました。

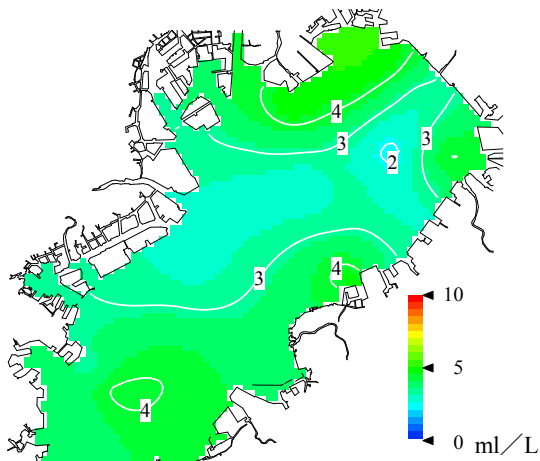


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

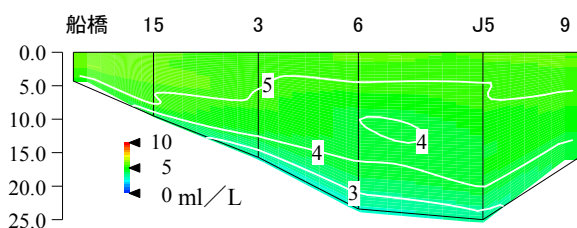


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

### 【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩濃度(図7)は保田～館山湾にかけて溶存無機態窒素(DIN)が平年より少なくなっていますが、ほぼ全域で平年より多くなっています。内湾では平年の約2倍あります。

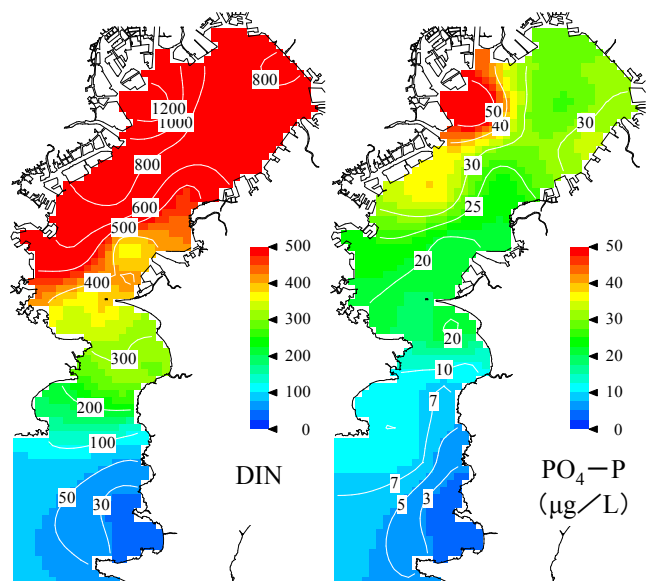


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

## 【黒潮の状況】

黒潮はほぼB型基調で推移し、その流軸は7日現在八丈島周辺で迂回した後、北上しながら、三宅島付近から房総半島南東岸を北東方向に流れています(図8)。

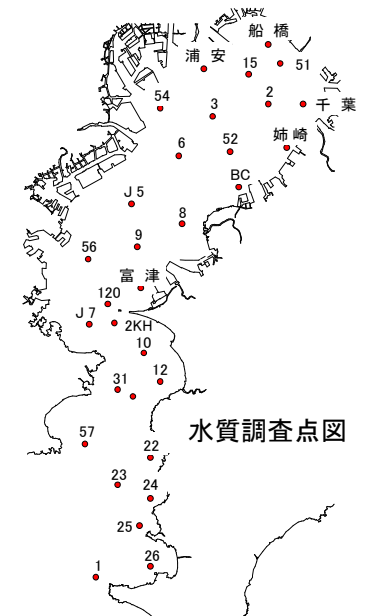
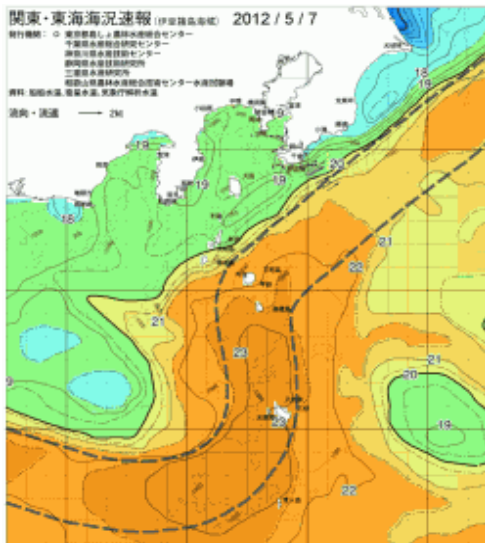


図8 黒潮の動き (平成24年 5月 7日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)  
( ): 最近10年間の平均値 (2002~2011年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)	
内湾	船橋	20.0 (19.2)	25.20 (28.66)	2.3 (2.3)	8.3 (8.5)	4.6 (4.6)	161 (54)	715 (389)	27 (20)	13.7
	st.15	18.8 (19.0)	26.30 (28.91)	3.1 (2.5)	8.2 (8.6)	3.8 (4.0)	189 (52)	694 (371)	29 (16)	4.7
	st.3	19.4 (18.4)	26.30 (29.28)	3.0 (3.0)	8.2 (8.6)	2.6 (2.6)	201 (52)	704 (342)	31 (12)	4.0
	st.6	18.9 (18.2)	23.70 (30.14)	1.8 (3.3)	8.3 (8.6)	2.6 (3.0)	178 (53)	797 (299)	30 (9)	4.0
	st.9	18.3 (17.4)	31.20 (31.42)	4.5 (3.7)	8.2 (8.4)	3.9 (4.1)	109 (36)	376 (257)	19 (5)	5.7
	st.BC (盤洲Cブイ)	19.7 (18.7)	28.90 (31.06)	4.2 (3.3)	8.2 (8.4)	4.3 (4.4)	175 (42)	588 (288)	28 (11)	4.0
	st.8 (盤洲A南)	18.7 (18.1)	30.40 (31.59)	3.4 (4.7)	8.2 (8.4)	3.3 (3.9)	136 (44)	448 (254)	21 (11)	6.6
	富津	18.1 (17.3)	29.90 (32.14)	4.0 (4.3)	8.3 (8.3)	3.7 (4.5)	142 (40)	403 (223)	20 (9)	2.4
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	18.0 (17.1)	31.14 (32.15)	3.8 (5.3)	8.3 (8.3)	117 (49)	370 (207)	17 (8)	2.6	
	st.31	19.3 (17.1)	30.80 (32.41)	4.0 (6.5)	8.3 (8.3)	69 (37)	285 (201)	10 (6)	4.1	
	st.23	19.5 (18.0)	33.70 (33.69)	13.0 (9.5)	8.3 (8.3)	20 (30)	59 (77)	7 (4)	0.9	
	st.1	19.1 (18.3)	33.21 (34.02)	15.0 (12.4)	8.2 (8.2)	13 (20)	44 (56)	4 (3)	0.9	
	st.10 (下洲沖)	18.5 (17.2)	31.96 (32.38)	4.5 (5.9)	8.3 (8.3)	123 (34)	304 (210)	20 (7)	1.7	
	st.12 (湊沖)	19.9 (17.4)	31.03 (32.68)	4.5 (5.6)	8.3 (8.3)	82 (34)	289 (179)	10 (5)	0.9	
	st.22 (保田沖)	19.5 (18.2)	33.70 (33.73)	12.0 (10.0)	8.3 (8.3)	27 (26)	65 (69)	4 (2)	1.7	
	st.24 (富山沖)	19.3 (18.3)	33.74 (33.92)	8.5 (9.8)	8.3 (8.3)	10 (20)	36 (50)	2 (2)	1.7	
st.26 (館山湾内)	19.4 (18.2)	32.96 (33.80)	7.0 (11.2)	8.3 (8.2)	3 (20)	13 (51)	2 (2)	0.9		

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。